

# 第 18 回西日本スプリングレガッタ

## 第 22 回中四国学生ヨット新人戦大会

主催団体	NPO 法人岡山県セーリング連盟
大会期日	令和 5 年 3 月 18 日(土)~19 日(日)
開催地	岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓ヨットハーバー
競技種目	国際 470 級, 国際スナイプ級, 国際 FJ 級, 国際 420 級, シーホッパー級, シーホッパー級 SR, レーザー級, レーザーラジアル級
大会運営	岡山大学ヨット部

### 帆走指示書(SI)

#### 1. 規則

- 1.1 本大会はセーリング競技 2021 年~2024 年(以下「RRS」という)に定義された規則を適用する。ただし, この帆走指示書(以下「SI」という)の各項で RRS の一部を変更する。
- 1.2 各クラスの規則のセール番号および艇体番号の同一性に関する条項並びに個人会員登録(艇およびセール登録は除く)に関する条項は適用しない。
- 1.3 RRS 付則 T を適用する。レース後ペナルティーを履行した艇は, 得点略語「PRP」を用いて記録される。これは RRS A10 を変更している。
- 1.4 NoR と SI が矛盾する場合, SI を優先する。
- 1.5 【NP】はこの規則の違反は艇による講義の根拠とはならないことを意味する。これは RRS60.1(a)を変更している。
- 1.6 【SP】はレース委員会が審問なしに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。これらの違反と関連するペナルティーのガイドラインは, 公式掲示板に掲示される。標準ペナルティーを課された艇の得点略語は「STP」である。レース委員会は抗議することもでき, その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。これは RRS63.1, A5 および A10 を変更している。

#### 2. SI の変更

- 2.1 SI の変更は, それを発行する当日の各クラスの予告信号の 60 分前までに公式掲示板に掲示する。ただし, レース日程の変更はそれが発行する前日の 18:00 までに掲示される。

- 2.2 海上で SI を変更する場合は、レース委員長船に音響信号 1 声とともに L 旗を揚げ、口頭で変更を伝える。変更が聞こえた競技者は手を振ってこたえること。

### 3. 選手とのコミュニケーション

- 3.1 競技者への通告は、大会 LINE オープンチャット(以下「オープンチャット」という。)を通して行う。SI 内の公式掲示板とはオープンチャットおよびオープンチャットにて示すリンク先 WEB ページのことを意味している。
- 3.2 レース委員会は研修棟に位置する。
- 3.3 【DP】最初の予告信号からその日の最終レースまで緊急の場合を除き、艇は音声やデータを送信してはならず、かつ、すべての艇が利用できない音声やデータを受信してはならない。
- 3.4 【NP】【DP】選手及び支援者は、SI20 の場合を除いて、オープンチャットへ書き込みをしてはならない。

### 4. 【DP】行動規範

競技者および支援者は、レース委員会からの合理的な要求に応じなければならない。

### 5. 陸上で発せられる信号

- 5.1 陸上で発せられる信号は、研修棟に設置された信号柱に掲揚される。
- 5.2 【DP】【NP】D 旗が音響信号 1 声とともに掲揚された場合、「出艇を許可する」ことを意味する。艇は、この信号が発せられるまで、ハーバーを離れてはならない。予告信号は、D 旗掲揚後 20 分以降に発する。また、クラス旗の上に D 旗が掲揚された場合は、そのクラスのみに適用される。
- 5.3 SI6 に示された、個別レースに対して AP 旗は掲揚されない。予告信号予定時刻の 20 分前までに D 旗が掲揚されない場合、そのレースのスタートは時間に定めなく延期されている。

## 6. 日程

6.1 レース日程は以下の通りとする.

3月17日(金)

15:00～16:00 登録受付

3月18日(土)

8:00～ 9:00 登録受付

9:00～ 9:30 開会式・ブリーフィング

10:25 最初のクラスの予告信号

3月19日(日)

8:30～ ブリーフィング

9:25 最初のクラスの予告信号

16:00～ 表彰式・閉会式

- 6.2 本大会は各種目7レースを予定し,1日に行うレース数は各種目4レースまでとする.
- 6.3 最初に国際470級がスタートし,その後に国際スナイプ級がスタートする.それ以外のクラスはその後同時にスタートでレースを行うことを基本とするが,スタート順は変更する場合がある.
- 6.4 引き続き行われるレースの予告信号は,前のレースが終了した後,任意の時刻に発せられる.
- 6.5 大会最終日は14:00を超えて予告信号が発せられることはない.
- 6.6 天候・その他の事情によりレース日程はレース委員長において変更されることがある.
- 6.7 それぞれの日に選手・監督・レース委員会・プロテスト委員会によるブリーフィングを研修棟前で行う.

## 7. クラス旗

クラス旗は、次の旗を用いる。

種 目	クラス旗
国 際 4 7 0 級	470級の記章を記した白色旗
国 際 ス ナ イ プ 級	F 旗
国 際 4 2 0 級 国 際 F J 級 シ ー ホ ッ パ ー 級 シ ー ホ ッ パ ー 級 SR レ ー ザ ー 級 レ ー ザ ー ラ ジ ア ル 級	シーホッパー級 SR の記章を記した白色旗

## 8. レース・エリア

レース・エリアは、別途図1のとおり。

## 9. コース

- 9.1 別途図2に各レグ間のおおよその角度、通過すべきマークの順序、および各マークの通過する側を含むコースを示す。
- 9.2 予告信号以前に、最初のレグのおおよそのコンパス方位と各クラスのコースをレース員会の信号艇に掲示する。

## 10. マーク

- 10.1 マーク 1, 2, 2S, 2P, 3, 4 は黄色の円筒形ブイとする。
- 10.2 スタート・マークはスタート・ラインのスターボートの端にあるレース委員会信号船とポートの端にある黄色の棒状ブイである。
- 10.3 フィニッシュ・マークは、フィニッシュ・ラインのスターボートの端にある黄色の棒状ブイとポートの端にあるフィニッシュ船とする。
- 10.4 SI12に従い、次のマーク位置変更により新しいマークが用いられる場合には、オレンジの三角錐形ブイを使用する。その後、再び新しいマークに置き換える場合は、元のマークを使用する。

## 11. スタート

- 11.1 スタートはRRS26に基づいて行う。

- 11.2 スタート・ラインはスターボートの端にあるレース委員会信号船上のオレンジ色旗を掲げた紅白ポールとポートの端の黄色の棒状ブイのコース側の間とする。
- 11.3 【DP】【NP】 予告信号が未だ発せられていない艇は、スタート・ラインからおおむね 50m 以内の範囲及びコース・サイドから離れ、すでに予告信号が発せられたクラスの艇を避けなければならない。
- 11.4 スタート信号の 4 分以降にスタートする艇は DNS と記録される。これは RRS A5.1 と A5.2 を変更している。
- 11.5 ゼネラル・リコールの際、艇に知らせるためレース委員会信号船以外のレース委員会船にも第一代表旗を掲げる場合がある。ただし、当該レースのレース委員会が行う第一代表旗の掲揚・降下については、RRS レース信号「予告信号は効果の 1 分後に発する。」の意味は持たないものとし、また音響信号の無声も無視されるものとする。
- 11.6 RRS 30.4「黒色旗規則」が適用されたレースにおいて、ゼネラル・リコール信号が発せられた場合、またはレースがスタートした後中止になった場合には、黒色旗規則に違反した艇のエントリーナンバーをレース委員会の信号船の後部に掲示する。これは RRS 30.4 を変更している。

## 1 2. コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更するために、レース委員会は、新しいマークを設置し（またはフィニッシュ・ラインを移動し）、実行できればすぐに元のマークを除去する。そのあとの変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

## 1 3. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、スターボートの端にある黄色の棒状ブイとポートの端のフィニッシュ船上の青色の旗を掲げたポールのコース側の間とする。

## 1 4. ペナルティー方式

- 14.1 RRS 42 の違反に対しては、付則 P を適用する。ただし、付則 P の文中の「セール番号」は「セール番号またはエントリーナンバー」と置き換える。

14.2 付則 P2.2, P2.3 および P2.4 は次のとおり変更する.

P2.2 2回目以降のペナルティー

レガッタ中に二回目以降のペナルティーを受けた場合の艇のペナルティーは, 規則 44.2 に基づく「2回転ペナルティー」でなければならない. ペナルティーを履行しない場合にはその艇は審問無しに失格とされなければならない, その得点は除外できない.

P2.3 削除

P2.4 削除

## 15. タイム・リミットとターゲット・タイム

15.1 タイム・リミットとターゲット・タイムは以下のとおりである.

タイム・リミット	マーク1タイム・リミット	フィニッシュ・ウィンドウ	ターゲット・タイム
50分	20分	15分	40分

15.2 マーク1タイム・リミット内に1艇もマーク1を通過しなかった場合, レースは中止される.

15.3 フィニッシュ・ウィンドウとは RRS30.3 および RRS30.4 に違反せずスタートし, コースを帆走した最初の艇がフィニッシュした後から他艇がフィニッシュするまでの時間である. フィニッシュ・ウィンドウ内にフィニッシュしない艇は審問無しに「フィニッシュしなかった(DNF)」と記録される. これは RRS 35 および RRS A5.1, A5.2 を変更している.

15.4 ターゲット・タイム通りにならなくても救済要求の根拠とはならない. これは RRS 62.1(a) を変更している.

## 16. 抗議と救済の要求

16.1 各クラスに対して, 抗議締め切り時刻はそのクラスのその日の最終レースに最終艇がフィニッシュした後, またはレース委員会が「本日これ以上レースを行わない」という信号を発した後のどちらか遅いほうから 60分とする. 時刻は公式掲示板に掲示される.

- 16.2 抗議および救済の要求は適切な締め切り時間内にオンラインフォームより提出しなければならない。ただし、オンラインフォームによる提出が困難な場合には、プロテスト委員会で購入できる用紙に記入し、プロテスト委員会に提出することができる。
- 16.3 レース・エリアで関与したか、または目撃したケースに関して抗議しようとする艇はそのレースをフィニッシュした後、直ちにフィニッシュ・ライン付近に位置するレース委員会船かレース委員会の信号船に抗議の意思を示さなければならない。これは RRS61 を変更している。
- 16.4 レース委員会またはプロテスト委員会による RRS61.1(b)に基づく艇への抗議の通告は締め切り時刻までに公式掲示板に掲示される。これは RRS61.1(b)を変更するものである。
- 16.5 プロテスト委員会はほぼ受付順に審問を行う。競技者への審問の時刻、場所、当該者および証人として指名された者への通告は、抗議締め切り後 30 分以内に公式掲示板に掲示される。
- 16.6 RSS66 に基づく審問の再開は、判決を通告された日の翌日の 8:30 までの間に限り求めることができる。ただし、最終日に行われたレースについては判決を通告されてから 15 分以内とする。これは RSS66 を変更するものである。
- 16.7 RSS 付則 P に基づき RSS42 に違反するペナルティーを課された艇、またはプロテスト委員会により失格とされた艇のリストはその日のレース終了後に掲示される。
- 16.8 レースを行う最終日には、プロテスト委員会の判決に基づく救済要求は、判決から 15 分以内に提出しなければならない。これは RSS62.2 を変更している。
- 16.9 各クラス規則の違反に対するペナルティーは、プロテスト委員会の裁量により失格より軽減することができる。

## 17. 得点

- 17.1 本大会は、1 レースの完了をもって成立する。
- 17.2 艇のシリーズの得点はレースの得点の合計とする。
- 17.3 (a)完了したレースが 3 レース以下の場合、艇の大会における得点は、レースの合計得点とする。
- (b)完了したレースが 4 レース以上の場合、艇の大会における得点は、最も悪い得点を除外したレースの得点の合計とする。これはクラス毎および大学毎の団体戦の合計得点を計算する際にも適用される。
- 17.4 総合得点(国際 470 級と国際スナイプ級に出場した大学のみ)は 6 艇の合計得点とする。ただし成立したレース数が 4 レース以上のクラスは 17.3(b)を適用した上で計算を行う。

- 17.5 団体総合の順位は、国際 470 級と国際スナイプ級の団体戦に参加した大学のうち、両クラスの合計得点が少ない大学を上位とする。得点がタイになった場合には、その大学は同順位とし、その次の順位を欠位とする。
- 17.6 各クラスの団体戦がタイとなった場合は A8.1 および A8.2 の文中の艇をチームに置き換えて解く。
- 17.7 複数艇種の同時スタートのクラスは、1つのクラスとして得点をつけ、成績はその得点を用いて艇種ごとにつける。
- 17.8 掲示されたレースまたはシリーズの結果について誤りがあると思われる場合、艇はレース委員会へ書面にて結果の照会をすることができる。
- 17.9 各クラスの団体戦における各チームの得点は、団体戦登録している 3 艇の合計得点とする。ただし成立したレース数が 4 レース以上のクラスは 17.3(b)を適用した上で計算を行う。

## 18. 出着艇申告・リタイア報告

- 18.1 チェックアウト・チェックインを大会出着艇申告フォーム (<https://forms.gle/AaRobkCzLNFFkDqM8>)、リタイア報告を大会リタイア報告フォーム (<https://forms.gle/TJDSbYMoebeqUn8p7>)で行う。
- 18.2 【NP】レースに参加しようとする競技者および支援艇は、8:00 から 1 日目は 10:00 まで 2 日目は 9:00 までに着艇申告フォームを送信しなければならない。帰着後再出艇する場合も忘れず着艇申告フォームを送信しなければならない。参加登録した艇で当日出艇しない艇の艇長またはその代理人は出艇申告受付時間内に大会リタイア報告フォームを送信しなければならない。
- 18.3 【NP】帰着申告は毎レース、艇長（レース委員会が正当な理由があると認めた場合は、その代理人）の出着艇申告フォームの回答をもって行う。帰着した艇の艇長は、帰着後直ちに、出着艇申告フォームを送信しなければならない。当該種目のレース終了後 30 分間が出着艇申告フォームの受付時間となる。ただし、レース委員長の裁量によりこの時間を延長することがある。
- 18.4 【DP】【NP】リタイアしようとする艇は、速やかにレース・エリアを離れ、リタイアの意味を近くのレース委員会船に伝えなければならない。艇長（レース委員会が正当な理由があると認めた場合は、その代理人）は、SI18.3 の帰着申告を行ったうえその日の最終レース終了後、またはレース委員会が、本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から 60 分以内に大会リタイア報告フォームからリタイアしたレースを選択し、送信しなければならない。やむを得ずレース委員会船にその旨を伝えることができなかった場合は、大会リタイア報告フォームにその理由を記入すること。



- 18.5 一度ハーバーに帰着した艇で SI18.2 および, SI18.4 の手続きを行った艇が再度レースに参加しようとする(出艇する)場合, 競技者は, 大会出艇申告フォームから該当項目を選択・回答しなければならない。また, 海上にてレース委員会艇にレース参加の意思を伝えなければならない。
- 18.6 クルーを2名またはヘルムスマンを2名登録した艇は, 出艇申告及び着艇申告時は, その時に乗っていたクルーまたはヘルムスマンの氏名を入力すること。
- 18.7 出艇申告及び帰着申告に不備があったレース艇には, RRS 63.1 と A5 を変更し審問なしにペナルティーが課される。課されるペナルティーは RRS44.3 (c) の「20%」を「10%」に置き換えた「得点ペナルティー」(ただし, このペナルティーにより DNF より悪い得点が与えられることはない)とし, 出艇申告及び帰着申告それぞれ直近の1レースに対して課され, PTP と記録される。これは RRS A5 および A10 を変更するものである。

## 19. 【NP】安全規定

- 19.1 【DP】 競技者は会場において適正な浮力を有するライフジャケットを着用しなければならない。
- 19.2 レース委員会またはプロテスト委員会は, 危険な状態にあると判断した艇に対してリタイアを勧告または強制救助を行うことができる。これは艇による救助の根拠とならない。これは RRS 62.1 を変更している。
- 19.3 【DP】 本大会に参加する全ての競技艇は, 主催者が用意するエントリーナンバーをメインセイルのピーク部に貼付しなければならない。エントリーナンバーの貼付場所は, できる限りピーク部に近い高い位置で, スターボードサイドをポートサイドより概ね 50 mm以上離れた高い位置に取り付けなければならない。

## 20. 【NP】乗員の交代と装備の交換

- 20.1 【DP】 乗員の交代の要請は, レース委員会による事前承認なしでは許可されない。交代の要請はオープンチャットにてレース委員会に行わなければならない。
- 20.2 【DP】 損傷または紛失した装備の交換は, テクニカル委員会の承認なしでは許可されない。交換の要請はオープンチャットにてテクニカル委員会に行わなければならない。

## 2 1. 【DP】【NP】 装備と計測のチェック

艇または装備は、クラス規則、学連申し合わせ事項、公示及び指示に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。また、各レース日の終了後、レース委員会が上位の艇を任意に計測することがある。

## 2 2. 運営船

レース委員会船およびプロテスト委員会船は、任務識別ボードを掲げる。

## 2 3. 【DP】【NP】 支援者船

- 23.1 支援者船は受付時に大会本部で登録し、ピンク色のリボンを取り付けなければならない。
- 23.2 支援者船は、各クラスの予告信号からレース終了までの間、各マークを結んでできる多角形の各辺から外側に約 50m 隔てた平行線で囲まれるエリア内に進入してはならない。さらに、全てのレース中の艇から約 50m 以上の距離を隔てて航行しなければならない。

## 2 4. ごみの処分

レース中を除き、ごみは、支援艇または大会運営船に渡してもよい。

## 2 5. 賞

レース公示通り、各種目の上位の者に賞を与える。ただしスキッパーが交代した艇は個人の賞から除外する。

## 27. リスク・ステートメント

27.1 このレガッタの競技者、コーチ、サポートメンバーは自分自身の責任で参加する。RRS 3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるについての艇の決定の責任は、その艇のみにある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による障害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。このことに伴い、主催団体は、大会前、大会中または大会後と関連して受けた物的損傷、個人の負傷、新型コロナ感染もしくは死亡に対する責任を否認する。

## 28. 【DP】保険

各参加艇は、有効な第三書賠償責任保険に加入しなければならない。

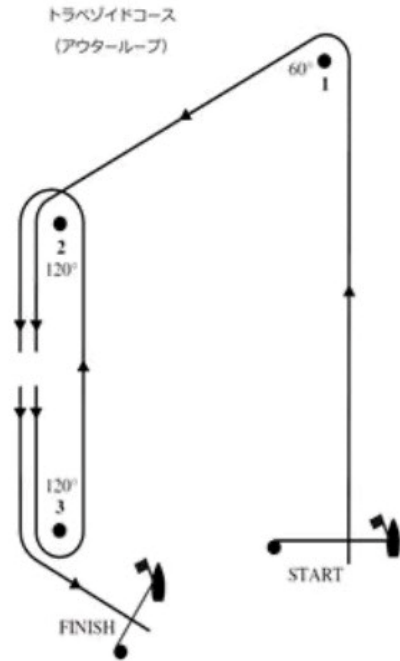
### 別途図1【レースエリア図】



別途図 2 【コース】

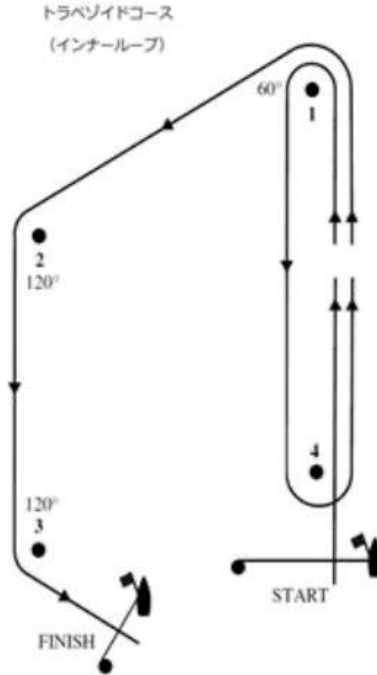
コース 1

Start → 1 → 2 → 3 → 2 → 3 → Finish



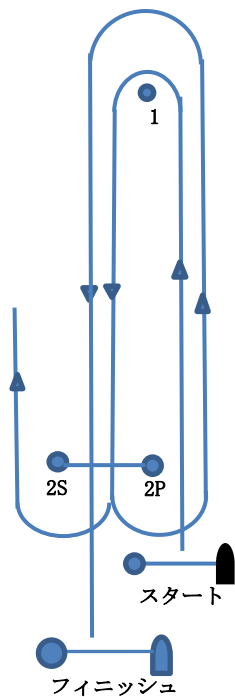
コース 2

Start → 1 → 4 → 1 → 2 → 3 → Finish



コース 3

Start → 1 → 2S / 2P → 1 → Finish



コース 4

Start → 1 → 2 → 3 → Finish

